

山武市総合計画審議会 会議録

会議名称	令和4年度第1回山武市総合計画審議会	
開催日時	令和4年8月19日（金） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時8分	
開催場所	山武市役所第6・7会議室	
議長氏名	金子 光委員	
出席者氏名	別添「出欠者名簿」のとおり（15名）	
欠席者氏名	善塔 雄委員、大国 兼道委員、鈴木 幸子委員、巖 博文委員、 高坂 奈魅委員（5名）	
事務局氏名	別添「出欠者名簿」のとおり	
会議事項	<p>次 第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 会長あいさつ 4. 市長あいさつ 5. 委員・職員の紹介 6. 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2次山武市総合計画の進行管理について (2) 基本計画（骨子案）等に係る検討結果について (3) 重点分野の設定について (4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・山武市過疎地域持続的発展計画について 7. その他 8. 閉 会 	<p>会議結果</p> <p>6</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 原案により決定 (2) 原案により決定 (3) 原案により決定 (4) 原案により決定
会議経過	別添「会議経過」のとおり	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1回山武市総合計画審議会 次第 ・【資料1-1】第2次山武市総合計画の達成状況〔令和4年8月現在〕 ・【資料1-2】令和3年度施策・基本事業評価結果 ・【資料1-3】重点分野成果状況一覧表 ・【資料2-1】序論（案） ・【資料2-2】基本構想（案） ・【資料2-3】基本計画（骨子案） ・【資料2-4】施策・基本事業に係る成果指標（案） ・【資料3-1】重点分野の設定について ・【資料3-2】重点分野検討一覧（新旧対照） ・【資料3-3】重点分野検討一覧（設定理由等） ・【参考1】策定スケジュール〔令和4年8月現在〕 ・【参考2】山武市総合計画審議会 委員名簿 	
その他必要事項	署名委員の指名 大高 衛委員 小山 和典委員	

会議録の確定

確定年月日	署名委員
令和4年10月11日	大高 衛
	小山 和典

(会議経過)

発 言 者	発言内容 ・ 意見
荒木総合政策部長	<p style="text-align: right;">【午後1時30分】</p> <p>【1. 開 会】</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度第1回山武市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>私は本日の司会を務めさせていただきます、総合政策部の荒木でございます。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは早速ですが、お手元の次第に基づきまして、進めさせていただきます。</p>
荒木総合政策部長	<p>【2. 委嘱状交付】</p> <p>次第2、委嘱状の交付です。</p> <p>本会議の委員は、各行政機関等からご推薦いただきまして、お願いしております。今般、役員の改選により、委員の交代がありましたので、これに係る委嘱状の交付を行いたいと思います。</p> <p>本来であれば、市長から1人ずつ直接お渡しさせていただきたいところではありますが、時間にも限りがございますので、交代のありました委員のお手元にお配りさせていただいております。</p> <p>なお、委嘱の期間でございますが、令和4年8月19日から令和5年3月31日までとなっております。よろしくお願いいたします。</p>
荒木総合政策部長	<p>【3. 会長あいさつ】</p> <p>続きまして、次第3、会長挨拶です。</p> <p>金子会長、よろしくお願いいたします。</p>
金子会長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>昨年度、書面による開催だったんですけれども、審議会の会長を仰せつかりました慶応大学の金子と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>令和2年度、3年度は新型コロナの感染拡大に伴いまして、書面での開催となってしまいましたけれども、3年ぶりにこうして皆さんとお会いできて、うれしく思っています。</p> <p>私自身、もう山武市に10年ほど、お世話になっておりまして、まちづくり報告書の知見を書かせていただいています。</p> <p>山武市がもう自分のふるさとのように感じておりまして、山武市の発展に向けて、微力ながら何かできればと考えております。</p> <p>今、コロナ禍で、地方都市が注目されワーケーションですとか、いろいろな意味で、地方に移住する人が増えている中で、これから山武市にも、定住人口、交流人口が増えて、活性化していけばいいなと考えています。</p>

総合計画審議会は、街のグランドデザインを考える重要な会議だと思います。皆さんと共にこの街の方向性を議論できればなというふうに思っています。

簡単でございますが、皆様のご協力をいただきながら、実りある会議となるよう祈念しまして、私のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【4. 市長あいさつ】

ありがとうございました。

続きまして、次第4、市長あいさつです。松下市長からごあいさつ申し上げます。

皆様、こんにちは。

お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、長く続いております新型コロナウイルス感染対策に皆さまにもご協力をいただきまして、御礼申し上げます。

感染者数は山武市もなかなか落ち着かないところではありますが、個々に努力していただいておりますので、こうして会議を開ける状況になっています。

先ほど、総合計画審議会委員の委嘱状を机上配布という形で、交付させていただきました。

本審議会は、令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりまして、書面による開催とさせていただきました。

そのため、今回委員の皆さまにこうして集まっていただく機会ができたことを、大変うれしく思っています。

総合計画はまちづくりの最上位の計画ですので、現計画の進行管理と次期計画の策定に係る審議をしていただく本審議会は、非常に重要なものであると認識しております。

私も、今回市長として2期目を任させていただきましたので、令和4年山武市議会第2回の定例会、6月議会におきまして、市政運営で取り組む重点施策について、所信を述べさせていただきました。

その中で、1期目に続く2期目の所信表明ですので、これまで積み上げてまいりました政策をさらに充実させる、継続的なものが多いですが、新たな取り組みとしては、未来を見据えた農業構想づくり等がございます。

総合計画の策定に当たりましては、所信表明の内容を踏まえまして、重点分野を設定し、今後のまちづくりに取り組んでいくために、本日ご審議をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、議題にもございますが、松尾地域が過疎地域として指定をされましたので、そちらへの対応も取り組んでまいりたいと思います。

のちほど、ご協議をいただきたいと思います。

簡単ではございますが、私からのあいさつに代えさせていただきます。

荒木総合政策部長

松下市長

<p>荒木総合政策部長</p>	<p>ます。 本日はよろしくお願い申し上げます。</p> <p>【5. 委員・職員の紹介】 それでは、次第5、委員・職員の紹介をさせていただきます。 委員の皆様のご紹介でございますが、私からお名前を読み上げさせていただきます。その際、恐縮でございますが、自席で起立をお願いいたします。 それでは、事前に配布しております委員名簿の順に紹介をさせていただきたいと思っておりますので、併せてご覧ください。 (委員について紹介)</p>
<p>荒木総合政策部長</p>	<p>続いて職員の紹介をさせていただきます。 所田議会事務局長ですが、所要のため、遅れての出席となります。また、内山企画政策課長と杉浦政策推進係長は、所用のため欠席となります。 (上大川副市長から順に事務局まで紹介)</p> <p>それでは、次第6、議事に移るところですが、ここで本日の出席状況を報告させていただきます。 本日の審議会でございますが先ほどお話した通り、善塔委員、大国委員、鈴木委員、嶽委員、高坂委員から欠席というご連絡をいただいております。 山武市総合計画審議会運営要綱第3条第2項に基づき、委員総数20人に対し、15名の出席をいただいておりますので、過半数を超えておりますので、本会議が成立したことを報告させていただきます。 それでは、金子会長、今後の議事をよろしくお願いいたします。</p>
<p>金子会長</p>	<p>【6. 議事】 それでは、早速ですが議事を進めて参りたいと思います。 会議に先立ちまして、山武市総合計画審議会運営要綱第4条には、会議録を作成し、この経緯・結果について、出席委員のうち議長が指名する二名が署名しなければならないと、定められています。 これらにつきましては、委員名簿の順に各回順番にお願いしたいと思います。 では、昨年度までの署名の状況を踏まえまして、大変恐縮ですが、大高委員、小山委員のお二人をお願いいたします。 なお、本会議終了後、会議の結果は会議録としてまとめ、市ホームページ等で公開する予定となっております。各委員には後日事務局から会議経緯について確認依頼がありますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>金子会長</p>	<p>それでは次第に従い、次第6、議事に入らせていただきます。 (1) 第二次山武市総合計画の進行管理においては、事務局から資料に基づい</p>

事務局

で説明いただきたいと思います。

その後、この議案に対する質疑応答を行うという形で、議事を進めていきたいと思えます。

では、事務局から説明をお願いします。

説明に先立ちまして、本日は新型コロナウイルス感染症対策として、前回までよりも広い会議室を使用しているのですが、マイクが4本のみの使用となっています。

事務局説明後の質疑につきましては、事務局でマイクを発言される委員の方のところにお持ちしますので、よろしくをお願いします。

それでは、議事(1)第2次山武市総合計画の進行管理について、ご説明させていただきます。

着座にて失礼いたします。

第2次山武市総合計画は、令和元年度～令和4年度を計画期間として、まちづくりを進めてまいりました。

本日報告させていただくのは、第2次山武市総合計画の令和3年度実績となり、3年目の評価結果です。

はじめに、山武市の総合計画の特徴について、簡単にご説明させていただきます。

山武市では、行政評価という考え方を取り入れています。行政評価という考え方では、計画に基づいて実行し、その結果を評価して、改善するというサイクルを回しています。

この評価の部分についてですが、山武市の総合計画は、「施策」の下に「基本事業」、そのまた下に「事務事業」という体系に分かれています。各階層それぞれに、成果指標を設定し、数値で施策や事業の達成度を、分かりやすく「見える化」しています。

それでは、評価結果の報告に移らせていただきます。

表紙の右上に【資料1-1】と書いてあります「第2次山武市総合計画の達成状況[令和4年8月現在]」の、A4ヨコ、1枚紙の資料をご覧ください。

こちらの表は、第2次山武市総合計画の6政策、24施策に設定してある40指標、さらにその下の、108の基本事業に設定してある207指標の目標達成状況を、一覧に示したものでございます。

表をご覧くださいますと、左側から政策名、そして政策ごとに施策・基本事業、基本事業のうち重点分野の3段書きとなっており、それぞれの指標数、令和3年度の目標達成度、達成率。右側には令和2年度の達成度、達成率を記載しています。

達成度の欄の「-」としているところについては、指標値が取得できないものとなっており、令和3年度については、現時点で指標値が取得できていないものも含んでいます。

表のいちばん下、合計のところをご覧ください。

令和3年度の施策の成果指標で、「達成」となったものは17指標で、達成率は42.5%です。

基本事業の成果指標については、「達成」が79指標、達成率は38.2%となっています。

指標値の傾向としましては、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で大きく指標値が減少したものが、やや回復傾向にはありますが、まだコロナ前の基準値までは回復していない状況にあります。しかし、めざそう値を達成している指標も増加していますので、各事務事業での取り組みの成果が出てきているものと考えます。

続いて【資料1-2】をご覧ください。こちらは、各指標の個表となっています。

表紙をめくっていただきまして、1ページをご覧ください。

資料の見方の説明を兼ねまして、政策1「暮らしを支える快適なまちづくり」についてご説明いたします。

まず、各施策の最初のページには、「施策を取り巻く環境変化と課題」について記載をしています。

2ページ目は「施策・基本事業成果指標の一覧」となっております。

施策と、その施策にある基本事業の成果指標について、令和3年度と令和2年度の実績、そして基準値と前年度との状況を一覧で記載しています。

基準値は計画策定時の成果指標の値です。3ページ以降に掲載されています。対基準値、対前年度の評価区分は、向上とやや向上の横ばいが、晴れマーク。やや低下の横ばいが、くもりマーク。低下が、雨マークとなっています。比較不可のものについては「-」となっています。

続いて、3ページ目が施策のページとなっており、施策の成果状況と評価を記載しています。

施策1「地域核をネットワークする都市整備の推進」の成果指標は「都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度」となっており、アンケートで指標値を取得しています。めざそう値、計画の目標値は54%ですが、令和3年度の満足度は55.9%で、基準値と比較して2.5ポイント、前年度と比較して0.2ポイント増加し、めざそう値を達成しています。

評価欄の右側には、指標値の動きをグラフで示しています。

達成状況については、「達成」「高」「中」「低」の4段階で評価を行っています。

続いて、4ページ目には各施策の基本事業について、同様に成果状況と評価を記載しています。

以上が、1つの施策についての評価結果の構成となっており、以降、政策・施策順に記載しています。

なお、先ほどの資料1-1では政策1の達成度が100%となっていますが、

	<p>都市施設の整備については、めざそう値を達成しましたが、今後も継続的に取り組んでいくものですので、さらなる成果向上をめざしたいと考えています。</p> <p>続いて、資料1－3については、17の重点分野の指標の状況と、基本事業の成果向上のために取り組んでいる事務事業の状況について、まとめています。</p> <p>先ほどご覧いただいたとおり、247指標ございまして、資料については事前に配布をさせていただきましたので、詳細な説明については、割愛させていただきます。</p> <p>なお、本日、ご説明させていただいた、令和3年度の評価結果につきましては、最終的な取りまとめをいたしまして、まちづくり報告書として、ホームページ等で公開をする予定でございます。</p> <p>説明は以上となります。よろしくお願いいたします。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局から、資料に基づいて、(1)第2次総合計画の進行管理について説明がありました。</p> <p>こちらは令和元年度から3年間計画を進めてきた結果についての報告があったところです。</p> <p>委員の皆様方から、ご不明点などがありましたら、お受けしたいと思いますですが、いかがでしょうか。何か確認されたことなどございましたらお願いします。</p>
各委員	<p>(委員から意見等なし)</p>
金子会長	<p>それでは、ご不明点がなければ、議事を先に進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症という想定しなかった事態であり、指標値が低迷している指標もありますが、今年度が計画最終年度となりますので、総合計画の成果向上に向けて取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>それでは議事を先に進めさせていただきたいと存じます。</p> <p>では続きまして(2)番、基本計画骨子案等に係る検討結果について移らせていただきたいと思います。</p> <p>それでは事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議事(2)基本計画(骨子案)等に係る検討結果について、資料2－1～資料2－4を使用してご説明いたします。</p> <p>こちらの資料で、令和3年度第2回の審議会でご質問やご意見をいただいたことに対して、修正や追記等を行った部分を赤字で表記しています。前回の資料からデータが更新されたものなど時点修正を行った部分を緑色で表記しています。</p> <p>では、資料2－1の2ページをご覧ください。</p>

(3) 実施計画では、ローリング方式の説明として「計画に位置付ける事務事業を1年毎に見直す方式」と修正しました。

続いて、6ページです。

個別分野計画の表中【政策1】ですが、【政策2】と表記されていたので、修正しました。

続いて、7ページをご覧ください。

市がSDGsに取り組むべき理由等を追記いたしました。

続いて、9ページをご覧ください。

1番上の「デジタル技術の活用」の文章中に「Society5.0」という用語が出てきますので、用語解説を追加いたしました。

続いて10ページをご覧ください。

農業算出額の統計調査結果から「養豚などの畜産」も盛んである旨を追記しました。

11ページ以降の統計数値等については、数値が確定しましたら、最新の数値に更新してまいります。

資料2-1については以上です。

資料2-2の2ページをご覧ください。

②合計特殊出生率、③社会人口増減数、④納税者1人当たり所得、⑧山武市が住み良いと思う市民割合について最新の数値に修正をいたしました。

また、⑦山武市の認知度については、調査対象が1,000市区町村である旨を追記しました。

続いて3ページをご覧ください。

こちらは、人口推計に関する記載とそのグラフになります。

これまで、地方創生総合戦略に基づいて人口ビジョンを作成していますが、これは平成27年国勢調査結果を起点とし、国立社会保障・人口問題研究所から公表された「将来の生残率」等の基礎データを使用して人口推計を行っていました。

今回、第3次総合計画の策定にあたっては、令和2年の国勢調査結果が公表されましたので、その人口を基準とした人口推計を行う必要がありましたが、国立社会保障・人口問題研究所から基礎データが公表されていないため、同様の推計方法に基づきながら、市独自に「将来の生残率」等を算出して人口推計を行いました。

グラフを見ていただきますと、黒いラインが今のまま推移した場合、真ん中の水色のラインは合計特殊出生率が上昇した場合、一番上の青色のラインが、合計特殊出生率に加えて20歳代の社会移動が改善した場合の人口推計になっています。

続いて、資料2-3です。

資料2-3は現在の総合計画の体系と第3次総合計画の体系の比較表になっています。裏面の右下をご覧ください。ピンク色の2開かれた市政とまちの魅

	<p>力発信の基本事業3を「市の魅力発信」としていましたが、「市の魅力発信の強化」に修正いたしました。</p> <p>続いて、資料2-4です。</p> <p>資料2-4は施策と基本事業の成果を測るための成果指標の一覧です。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>「死亡者数」を「死者数」に修正しました。</p> <p>続いて、8ページをご覧ください。</p> <p>表の中段、子どもの虫歯対策の推進の成果指標として、フッ化物洗口実施率を追加しました。</p> <p>同じく8ページの最下段の特定疾病受療者証交付者数については、名称に誤りがありましたので、当日配布資料として8ページのみを追加で配布させていただきました。</p> <p>正しくは特定疾病療養受療証交付数となります。</p> <p>前回の審議会でいただいたご意見等に対する修正に関しては以上となります。</p>
金子会長	<p>事務局から資料に基づき、(2)基本計画(骨子案)等に係る検討結果について説明がありました。</p> <p>こちらでは令和3年度の第2回審議会で皆様から寄せられたご意見やご提案について、それぞれの対応方針等をご報告いただきました。</p> <p>その結果必要な修正が行われ、市民にとってよりわかりやすく、合理的な計画策定に向けて、改善が図られたものと思います。</p> <p>委員の皆様方から、ご不明点があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
小川委員	<p>資料2-1、第3次山武市総合計画についてなのですが、気になるのは、自治体の基本である住民の数です。山武市においても把握していると思うんですけども、13ページに掲載されている合計特殊出生率で記載しても、正直よくわからないと思っていますので、具体的な数、直近で言うと、令和3年に何人のお子さんが生まれたのかというところまで踏み込んで書いた方がわかりやすいと思うんですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>各年の出生数については、政策、基本事業、事務事業という体系のなかの事務事業の取り組みの中で、出生数というのも一つ指標としてとらえていますので、把握しています。</p> <p>ですので、ご指摘があった点踏まえまして、この合計特殊出生率というグラフに追加して、出生数の推移の掲載について検討させていただければと思います。</p>

小川委員	<p>その数字を前提にお話をさせていただきたいんですが、その数字が出ちゃうと、当然のことながら、小中学校の統廃合っていうことに踏み込んでいくと思うんです。</p> <p>だから、具体的な現実の実数を見て、政策に反映された方が望ましいんじゃないかというふうに思います。</p> <p>またちょっと、資料を読んでいてわからないところがあるんですけど、多分下位の個別計画の方に任せてられているんだと思うんですけども、公共施設の統廃合とかという取り組みについては、ここでは、財政に影響を与えると思うので、その辺の記述についてはどのように取り扱うことになっているのでしょうか。</p>
荒木総合政策部長	<p>施設の統廃合等につきましては今、公共施設の個別計画を作っておりますので、その中で、今後の長寿命化ですとか、そういったものも含めて考えていくことになっています。</p>
小川委員	<p>総合計画の中でどうしたいっていう方針とか出した方がいいんじゃないでしょうか。</p> <p>余談になりますが、私、違う自治体の公共施設の統廃合に関わってまして、その町に住んでいるわけではないですけども、住民を説得するような役割になっているんですよ。</p> <p>そのときに、町のランドデザインやマスタープランとかがないと、正直説得しづらいです。総合計画の中に、そういう記述があると非常に助かると思うんですけども、その点をちょっと検討していただけたらと思います。</p>
荒木総合政策部長	<p>ただいまのご意見につきましては、資料2-1の6ページに総合計画と個別分野計画の連動について記載してまして、そのなかの政策6の一番下の欄に、公共施設等の総合管理計画を記載していますので、この中で示していきたいと考えています。</p>
小川委員	<p>他の委員の皆さんの発言がなければ、続けさせてよろしいですか。</p> <p>小さい子供を抱える親として、伺いたいことがあるんですが、山武市の事情を知らないの、ちょっと的外れな質問になるかもしれませんが、お願いします。</p> <p>子育て支援になるのか、それとも障がい児福祉になるのかわからないんですが、今、保育園とか幼稚園とかにお子さんを預けたとして、ちょっと人と違うと、療育を進められることがあるんですが、その判断が非常に早いんです。昔は、ちょっと違う子だね、個性だねっていうふうを受けとめられていたんですけども、どうも最近の傾向だと、型に嵌めるような取り組みが割となされていて、ちょっとでも違和感があると、そういう療育の方を進められるんです。</p>

<p>竹宮保健福祉部長</p>	<p>山武市では療育に対する支援っていうのはどうなっているのか、教えていただきたいです。</p> <p>単独の市としてやっているのか、それとも広域連携の枠内でやっているのか、ちょっとその点を確認させていただきたいと思います。</p> <p>小川委員からのご質問のなかで療育手帳を奨められるということでございますけれども、山武市では個性を生かした教育を行っています。</p> <p>そういったなかで、保健師等が発達相談を実施しています。</p> <p>また、保護者からの希望がございましたら、児童発達支援であるとか、あるいは放課後デイサービス等の施設を利用させていただいて、それぞれの個性に合わせ、教育的な観点に基づいた取り組みを行っています。</p> <p>併せて、障がい児の方への個別の支援についてですが、山武市におきましても個別の支援もございますが、基本的には、山武圏域の三市三町で、今年、基幹相談支援センターというものを作りまして、障がい者と障がい児の方の相談支援を受けるような取り組みを実施しています。そういったなかで、お子さんそれぞれにあった支援を行っています。</p>
<p>小川委員</p>	<p>それで言うと、政策4の誰もが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりのどこにそれが反映されることになるのでしょうか。</p> <p>療育が必要になるというのは、子育て支援ですか、それとも障がい児支援になるのでしょうか。</p>
<p>竹宮保健福祉部長</p>	<p>主に保健師等が発達相談を行った中で、必要となれば障がい児支援の施策となります。</p> <p>そういった中で、第3次計画策定にあたっては、発達が気になる子どもへの支援も新規で基本事業に設定をしています。障がい児通所支援の利用者数、切れ目のない支援のため発達について検討した子ども数といった成果指標を設定していますので、この指標のなかに入ってくるものと考えています。</p>
<p>小川委員</p>	<p>なるほど、障がい児福祉の充実という施策の中で、対応するっていうことなんですね。その場合に、ちょっとハードルが一つ上がりませんか。</p> <p>ちょっとそこの線引きは難しいところあるかと思うんですが、子育て支援のなかの、子育て不安の軽減ですとか、書き方はちょっと工夫が必要かなというふうに、受け止めました。</p> <p>今、三市三町の枠組みでやっているというふうにおっしゃっていたので、実際現場がどうなっているかということ、今後、関心を持って見させていただきたいなというふうに思っています。</p> <p>最後に、資料2-3や資料2-4に、どの担当課が所管しているのか、担当課名まで、記載していただけるとありがたいので、今後よろしくお願いします。</p>

荒木総合政策部長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 今後、配慮していきたいと思えます。</p>
金子会長	<p>小川委員、貴重なご意見ありがとうございました。 他に質問ある方は、お願いします。 前回、皆様方からいただいた質疑については、市役所内部でも大いに議論した結果、良好に反映されているものと推察いたしております。 それでは、質問がないようですので、議事を先に進めさせていただきたいと存じます。 では、ここで、10分程度休憩をとりたいと思えます。2時30分に会議を再開したいと思えます。それまでにご着席をお願いします。</p>
	<p>会議休会 【午後2時20分】</p>
金子会長	<p>会議再開 【午後2時30分】 それでは、皆さんおそろいようですので会議を再開したいと思えます。 では、議事（3）重点分野の設定についての審議を行いたいと思えます。ここが本日のメインテーマでございます。 それでは、事務局から説明をお願いしたいと思えます。よろしくお願ひします。</p>
荒木総合政策部長	<p>第3次総合計画の重点分野（案）について、ご説明いたします。 まず、資料3-1をご覧ください。 1. 重点分野の考え方についてです。 総合計画は行政が取り組むべき政策を体系的にまとめた計画です。そのなかでも、優先的に取り組む分野を重点分野として設定しています。 2. 重点分野（案）についてですが、20基本事業を重点分野として考えています。 資料3-2をご覧ください。 こちらは第2次総合計画の重点分野との比較表になっています。 市長の所信表明を基に、第3次総合計画の体系とそこに位置づけられている事務事業を考慮して注力すべき分野の案を作成しています。 20基本事業のうち、星印の17基本事業は市長の所信表明によるもの、白抜き星印の3つの基本事業は事務局案としてお示ししています。 では、資料3-3をご覧ください。 表頭の左から、基本事業の名称、第2次計画の進捗状況として成果指標の推移、第3次総合計画の方向性として概要、達成状況を測る成果指標、対象となる事務事業として、主な既存事業と今後重点分野として予算措置や事業化が見込まれる内容について記載しています。</p>

白抜きになっている行は、重点分野から見直しを図った基本事業で、網掛けになっているものが、今回、重点分野として考えている基本事業になります。

本日は網掛け部分を中心にご説明します。

通番3「駅周辺の利便性の向上」は市長の所信表明の「成東駅北側の道路整備の事業化と交通結節点としての機能強化」に対応するものです。

今後、(仮称)成東駅北側周辺道路整備に関する事業が見込まれ、駅周辺の利便性の向上を目指すものです。

通番4「まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用」は事務局案です。今後、企業誘致を進めるためには、土地利用の見直しなど重点分野に位置付けておく必要があると考えたものです。

この基本事業には土地利用の見直しに対する直接的な成果指標は設定されていませんので「-」表記しています。また、企業の進出などがあった場合については、政策3の商工業分野の指標で測れるものとなっています。

通番5「市内における交通手段の確保」は所信表明の「公共交通のさらなる充実」に対応するものです。

今後、さらなる利便性向上のための計画策定に関する事業が見込まれます。

通番6「強靱化対策の推進」は所信表明の「防災拠点の再整備」に対応するものです。

今後、防災拠点環境整備等に関する事業が見込まれ、災害に強いまちづくりを目指すものです。

通番7「地域脱炭素化の推進」は所信表明の「ゼロカーボン施策の推進」と「再生可能エネルギー導入促進補助金の拡充」に対応するものです。

現在も省エネルギー等対策事業に取り組んでおりますが、今後、再生可能エネルギー導入促進に関する事業が見込まれます。

通番8「担い手の育成・支援」は所信表明の「未来を見据えた農業構想づくり」に対応するものです。

今後、農業構想作成に関する事業が見込まれ、新たなブランドと付加価値を生み出せる農業を推進するものです。

通番9「森林再生の推進」は「計画的な森林整備及びサンプスギのブランド化」に対応するものです。

現在、浦安市と連携して森林環境譲与税を活用することで、排出される二酸化炭素量を相殺する取り組みを実施しており、今後、サンプスギのブランド価値を高める取り組みを推進するものです。

商工業の分野の通番10「経営体の体質強化・育成と市内消費の推進」と通番11「工業の振興」と通番12「成田空港経済圏の形成」は所信表明の「企業誘致の促進及び中小企業のさらなる振興」に対応するものです。

「経営体の体質強化・育成と市内消費の推進」ではエコノミックガーデニング推進事業等を継続実施し、地域経済の活性化及び地域の雇用の増加を図るも

のです。

「工業の振興」では、成田国際空港の機能強化や圏央道の全面開通を活かし、企業誘致に取り組むことで雇用の増加を図るものです。

「成田空港経済圏の形成」では、大規模な雇用の場である成田空港や成田空港関連企業への就業者の増加を図ることで山武市への定住意識の向上を図るものです。

通番 13「魅力ある観光事業の推進」は所信表明の「蓮沼海浜公園の再整備の促進」に対応するものです。

蓮沼海浜公園を再整備し、地域への誘客の促進と持続的な観光振興を図るものです。

通番 15「介護予防の推進」と通番 16「心身の健康管理の充実」は所信表明の「大学や関係団体と連携した健康づくり対策の推進」に対応するものです。

介護予防対策として「転倒防止予防プログラム」の継続実施や市民一人ひとりが自ら健康づくりに取り組む環境を整えることで、健康寿命の延伸を図るものです。

通番 17「感染症等対策の推進」は所信表明の「新型コロナウイルス感染症対策」に対応するものですが、第3次総合計画から基本事業を新設し、取り組む姿勢を明確化していること、また、行政として取り組むべき基本的な分野のため重点分野とはしていません。

通番 18「医療体制の充実」は所信表明の「さんむ医療センターの早期完成」に対応するものです。

地域の中核病院として、近隣の医療機関等と連携して、切れ目のない医療を提供していくために、新病院の早期完成に取り組むものです。

通番 20「次世代育成による家族形成の支援」は事務局案です。

結婚に対する価値観が変化するなかで、家族形成に対する意識の醸成と結婚・出産・子育ての環境づくりについて、重点分野に位置付けて取り組んでいく必要があると考えたものです。

通番 23「教育環境の整備」は所信表明の「教育施設の充実」に対応するもので、安全・安心な教育環境・施設を整備し、学力の向上を図るものです。

通番 25「市の魅力発信の強化」は事務局案です。様々な媒体を通じて効果的に市の魅力を発信することで、移住・定住を促進するもので、人口減少対策として継続的な情報発信に努めていくため、重点分野に位置付けておく必要があると考えたものです。

通番 26「健全な財政運営」と通番 27「公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進」と通番 28「自治体DXの推進と市民サービスの向上」は所信表明の「行財政改革の抜本的な見直し」に対応するものです。

「健全な財政運営」では、現在も予算管理事業等に取り組んでおり、今後も人口減少や高齢化、社会環境の変化に対応しながら、予算規模の適正化に取り組んでいく必要があります。

	<p>「公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進」では、学校等跡地利活用検討事業等に取り組んでおり、今後も公共資産の有効活用及び公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正化に取り組んでいく必要があります。</p> <p>「自治体DXの推進と市民サービスの向上」では、今後、DX導入に関する計画策定等の事業が見込まれ、市民の利便性向上と業務の効率化に取り組むものです。</p> <p>重点分野（案）に関する説明は以上です。</p>
金子会長	<p>事務局から、資料に基づき（3）重点分野の設定について、説明がありました。</p> <p>こちらは、4年間の計画期間の間にどこに注力していくのかということだと思います。説明にもありましたが、総合計画は、行政の取り組みのすべてが組み込まれていますけれども、これからの山武市にとってどういったことが大切なのかというのを、市長の所信表明と合わせて検討されたということでした。ご質問やご意見、何か確認したい事柄がございましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。</p>
小川委員	<p>ちょっとお尋ねしたいのですが、資料3-3、通番20の子育て支援で出生者数（計画期間累計）という指標を設定されているようですが、これはなぜですか。</p>
荒木総合政策部長	<p>ただいまの質問ですけれども、これは将来の人口推計に基づいて出しています。人口推計を見ていく中で、出生者を数値化して、記載しているということになります。</p>
小川委員	<p>それはどう理解したらいいのでしょうか。他の考え方として、単年度の出生者数で見るやり方もあると思うんですけどいかがでしょうか。なぜ、累計数になるのか、その理屈ちょっと教えて欲しいです。</p>
荒木総合政策部長	<p>総合計画自体が4年間という計画の中で、作られていますので、その4年間の累計としています。</p> <p>今ご指摘のあった点については、4年間とすることの意味というものを考えたうえで、第3次総合計画を策定していきたいと思えます。</p>
小川委員	<p>一つの案としてですが、表し方として単年度で4年分並べて、その横に累計数を記載すればいいのではないのでしょうか。</p>
荒木総合政策部長	<p>ただいま、いただいた意見を参考に検討を図っていきたいと思えます。</p>

金子会長	ありがとうございます。他にございますか。
高橋委員	<p>4 ページの 18 番に所信表明のさんむ医療センターの早期完成ということで、医療体制の充実が重点分野になっていて、第 3 次総合計画の方向性の記載の中にさんむ医療センターの早期完成とあるのですが、これは市長の所信表明のなかに入っているということでしょうか。</p> <p>何が言いたいかという、計画では完成予定が令和 6 年なんです、早期完成と書いてしまうと、もっと早く作る、そういうふうには捉えられがちだと思うので、一般的に建て替え整備している中で、所信表明の中でそのような表現になっているのであればいいのですが、あまり対外的にも期待を持たせるような、計画より早くできることはないと思います。そこを確認させていただきたい。</p>
荒木総合政策部長	早期完成なんですけれども、今、ご指摘があった通り、計画で完成予定が令和 6 年ということになっていまして、所信表明のなかでは早期となっていますが、いろいろな事象が起こるということもありますが、計画通り進めていくという意味合いとなっています。
高橋委員	そうするとこの早期完成というのは残るわけですか。
荒木総合政策部長	今回の資料自体は、この会議の資料ですので、総合計画自体にはこのような表記ではないということをご理解いただければと思います。
小川委員	資料 3 - 3 の通番 12 ですが、商工業の振興と地域経済活性化の指標の成田空港関連の市内従業員人数が、平成 29 年が 632 人、令和 3 年が 0 人となっていますが、これはどういうふうに理解したらいいのでしょうか。
荒木総合政策部長	<p>表記の誤りになります。</p> <p>令和 3 年は 0 ではなくて取得不可ということで横棒 (一) の誤りです。こちらの指標は、現在コロナ禍のため、調査が実施されていません。そのため、数値が取れないというような状況です。</p> <p>今後、数値が取得できるようになりましたら、それはまた、記載していきますが、今は数値の報告がないという状況です。今回は表示を修正させていただきます。</p>
小川委員	<p>それに関連させて、13 の魅力ある観光事業の推進とか、14 の海岸を活用した観光振興もそうなんですけれども、そもそもそういうイベントができなかったわけですね。</p> <p>だから、0 人と書いてしまうとちょっと誤解が生じてしまうと思うので、そこはちょっと表記の工夫をしていただければなと思います。</p>

荒木総合政策部長	<p>今ご指摘のありました件につきましては、誤解を招かないようわかりやすい表記に修正させていただきますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
小川委員	<p>同じ資料で、通番でいうと26あたりになるかと思うんですが、山武市さんの財政運営に関して、さっきの資料で見させていただいたんですけども、財政調整基金を取り崩しながら、予算編成を行っているじゃないですか。</p> <p>今後どうしていくのか、わからないところもあるんですが、例えば、公共施設の集約化とか統合化をしていくとか、小学校の再配置、集約化、統合化といったことが考えられると思うんですけど、もうそうなった時に、地方債に依存した建て替えとかも考えられると思うんです。</p> <p>そうすると、計画的、効率的な行財政運営についても、財政調整基金を取り崩さない、財政調整基金をむしろ積み上げていくような指標っていうのは設定できないものでしょうか。ちょっと考えていただければと思ひます。いかがですか。</p>
小川総務部長	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>実際、山武市の場合、学校の統廃合、人口減少の少子化に合わせた統廃合については、現に進めているところです。</p> <p>公共施設についても施設計画に基づいて、これからどのような整理をしていくのかという取り組みをしていくところです。それがうまく機能していけば、当然、そこにかかってくるコストが減っていくということで、いろんな財政的な面でプラスになっていくだろうと思ひられます。</p> <p>ただ現状として、今の段階ですと、財政調整基金を取り崩さないでやっていくという状況にはありません。</p> <p>今後は、取り崩しを減らすもしくは、積めるような方向で取り組んでいけばと思ひています。</p>
金子会長	<p>他に質問ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>重点分野につきましては、皆さま方のご意見を踏まえまして、計画書の原案が取りまとめられるものと思ひています。</p> <p>ただいまの質疑をもって、議事を先に進めさせていただきたいと存じます。</p> <p>当審議会としましては、総合計画に対して、重点分野を設定すること、また、説明があつた20基本事業にすることに、意義ないことを確認したいと思ひますが、いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>(委員からの意義なし)</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。本件につきましては、異議なしとしたいと思ひます。それでは続きまして(4)その他に移らせていただきたいと思います。</p>

<p>事務局</p>	<p>それでは事務局から山武市過疎地域持続的発展計画について説明をお願いします。</p> <p>山武市過疎地域持続的発展計画（案）について説明させていただきます。</p> <p>まず、本市の旧松尾町地域が令和4年4月1日付で過疎地域に指定された経緯について概要をご説明いたします。</p> <p>過疎地域に指定される要件としましては『対象期間における人口の減少率』と『市町村の財政力』の2つの条件を満たすことで指定されます。『対象期間』は長期と中期の2種類があり、長期は40年間、中期は25年間となっており、どちらかの期間で人口減少率が基準以上であった場合該当になります。</p> <p>財政力については市町村が決算時に作成する財政力指数という指標が基準値である0.51以下の場合該当となります。</p> <p>令和2年の国勢調査による人口が確定したことに伴いまして、過疎地域の要件を判定する中期の対象期間がそれまでの『平成2年から平成27年度まで』から『平成7年から令和2年まで』に変更となりました。旧松尾町地域は平成7年の国勢調査で人口のピークを迎えており、その時の人口は11,418人であり、令和2年国勢調査では8,764人となり2,654人の減少により、人口が23.3%の減少となりました。25年間で23%以上の減少となったため人口減少の条件を満たしました。また、本市の財政力は0.50ですので、財政力も0.51以下という条件を満たしています。両方の条件がそろったため過疎地域の指定をされました。</p> <p>本市では旧松尾町地域のみが過疎地域に該当したため、一部過疎団体という区分となっています。</p> <p>過疎地域に指定された市町村は、過疎地域持続的発展計画という計画を策定することにより、過疎地域への人口減少対策などの取り組みを行う際に、国庫補助の増額や、過疎対策事業債という特殊な財源手当てを受けることができるようになります。過疎対策事業債は事業費を借入により賄い、返済費用の一部が国から補填されるという制度です。過疎対策事業債を使用すると市町村はおおむね3割程度の負担で事業を実施することが可能となります。</p> <p>このような財政措置を活用するため、お手元に配布させていただいております『山武市過疎地域持続的発展計画（案）』の作成をいたしました。</p> <p>それでは、『山武市過疎地域持続的発展計画（案）』について説明に移らせていただきます。</p> <p>本計画（案）の表紙をめくっていただき、目次をご覧ください。本計画（案）は13の項目で構成されています。この項目は大きく2つに分かれています。項目1番と2番から13番までです。</p> <p>項目の1番は本市の基本的な事項についてまとめています。市の現状、人口推移、過疎対策の方針そして目標などを記載してあります。</p> <p>8ページをご覧ください。中段にあります『(6) 計画の達成状況の評価に関</p>
------------	--

	<p>する事項』において、本日お話しさせていただいている『山武市総合計画』と連動していることをお示しいています。</p> <p>項目の2番以降については、それぞれが、国が必要としている過疎地域に対する政策の分野についてまとめたものとなっています。内容は各分野ごとの現況と問題点、その対策、そして対策として実施する事業をまとめています。実際に見た方がわかりやすいと思いますので、9ページをご覧ください。</p> <p>9ページは『移住・定住・地域間交流の促進、人材育成』の分野をさらに『移住・定住・地域間交流』と『人材育成』に分け、(1) 現況と問題点や(2) その対策などを記載しています。そして、(2) その対策に基づいて市として実施する事業を(3) 事業計画という形で事業化しています。『移住・定住・地域間交流』の点では、人口減少対策や地域間交流の活性化に必要な対策として、認知度の向上を目指す「さんむの魅力発信事業」や、転入の促進を目指す「三世同居等支援事業」、山武市と外をつなぎ、地域間交流の代表的な形である「ふるさと納税推進事業」などを実施してくという形になっています。項目2から13まではこのような形で構成されています。</p> <p>『山武市過疎地域持続的発展計画(案)』に記載されている事業はすべて総合計画に基づいており、総合計画の下位の計画として、過疎対策に特化した計画となっています。</p> <p>以上で『山武市過疎地域持続的発展計画(案)』の説明を終わります。</p> <p>金子会長</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から資料に基づき、山武市過疎地域持続的発展計画について説明がありました。</p> <p>委員の皆さま方から、ご不明点等があればお受けしたいとおもいますが、いかがでしょうか。ございませんでしょうか。</p> <p>それではご不明点がなければ議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>その他、(4) について、他に何かございますか。</p> <p>各委員</p> <p>(委員から意見等なし)</p> <p>金子会長</p> <p>それではないようですので、一切の議事が終了いたしましたので、ここで議長を解かせていただきたいと思います。</p> <p>長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。</p> <p>【7. その他】</p> <p>長時間にわたるご審議ありがとうございました。</p> <p>最後に次第7、その他になります。事務局から今後の会議予定について、ご連絡させていただきます。</p>
--	---

事務局	<p>1点ご連絡をさせていただきます。</p> <p>事前に配布させていただきました、参考1、第3次山武市総合計画策定スケジュールをご覧くださいと思います。</p> <p>本日、重点分野についてご審議をいただきましたので、今後、各指標の現状値の取得と、目標値の設定等の作業を予定しております。目標値と原案について、11月ごろにお示しをさせていただきたいと考えております。</p> <p>これが、スケジュールの表の下段に表記している市民参画等の総合計画審議会という欄の、④目標値・原案の審議（項目6・7）としている令和4年度の11月ごろという予定の部分になります。日程については、調整の上、ご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
荒木総合政策部長 小川委員	<p>その他に委員の皆様から何かございますか。</p> <p>山武市過疎地域持続的発展計画の27ページ、最初の生活環境の整備の事業主体のところに、誤植がありますので修正してください。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。修正いたします。</p>
荒木総合政策部長	<p>【8. 閉会】</p> <p>その他に皆様から何かございますか。</p> <p>ないようなので、本日の議事はすべて終了いたします。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和4年度第1回山武市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。長時間にわたりましてありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【午後3時08分】</p>